

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第5週の発生動向

### 全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：レジオネラ症1例。5類感染症：百日咳1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	—
		都城	70歳代	男	肺結核	咳、発熱、胸痛
		高鍋	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
4類	レジオネラ症	小林	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、腹痛、下痢、肺炎等
5類	百日咳	延岡	10歳代	女	—	持続する咳

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,020人(定点当たり44.4)で、前週比80%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

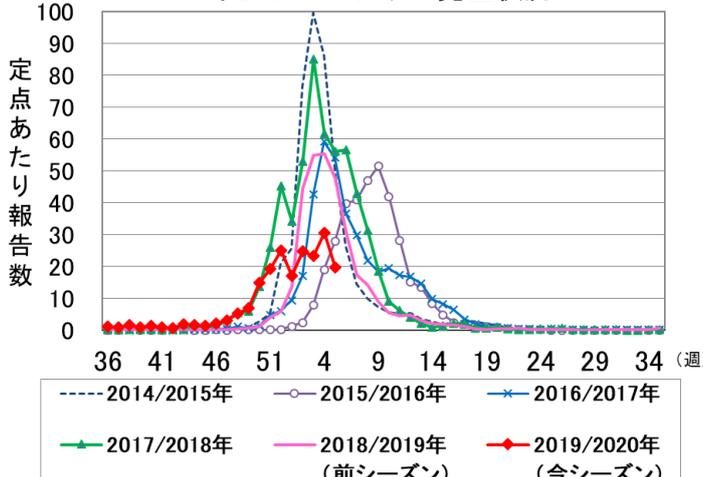
報告数は1,160人(19.7)で、前週比64%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(47.1)の約0.4倍であった。小林(37.0)、中央(33.5)、延岡(24.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めた。

##### 【感染性胃腸炎】

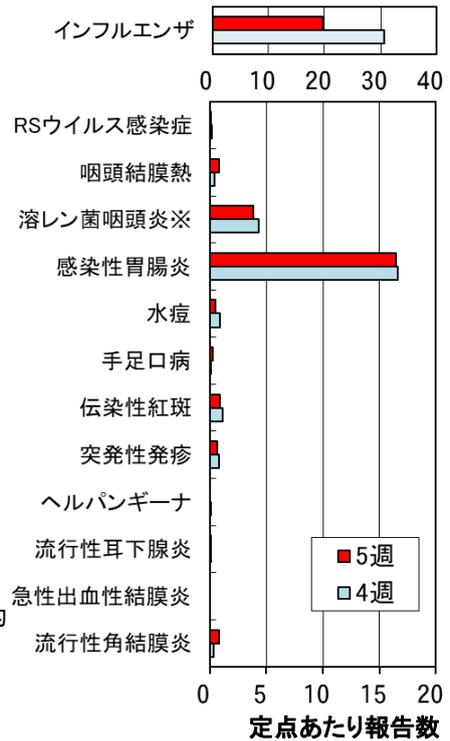
報告数は592人(16.4)で、前週比99%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値\*(10.7)の約1.5倍である。日南(31.7)、小林(21.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約4割を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

#### インフルエンザ 発生状況

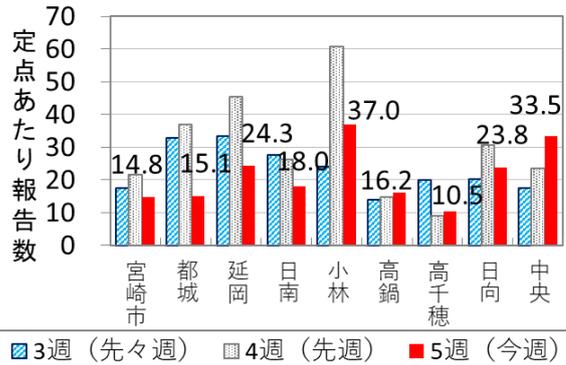


#### 【前週との比較】

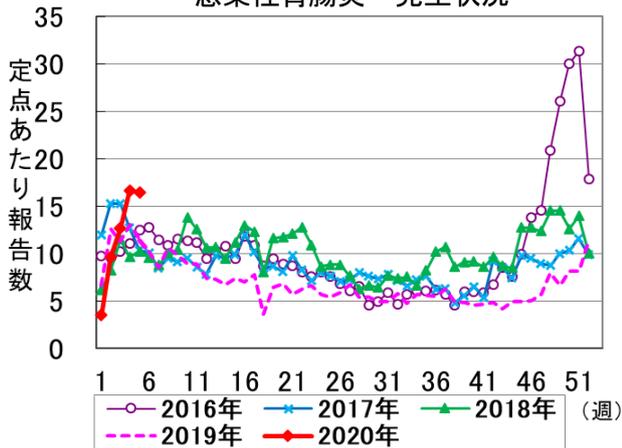


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

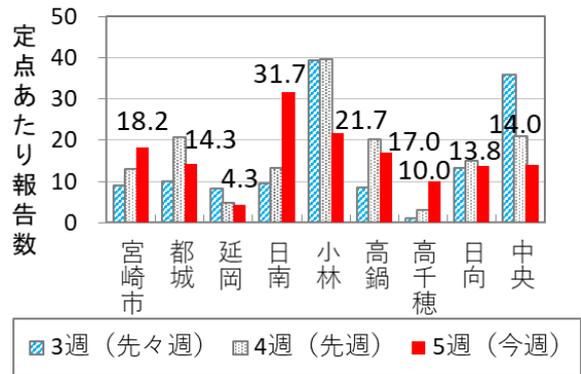
#### インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



### 感染性胃腸炎 発生状況



### 感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



### ★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から1例報告があり、年齢は5～9歳であった。

### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(14.8)、伝染性紅斑(2.0)
都城	インフルエンザ(15.1)、水痘(1.3)
延岡	インフルエンザ(24.3)
日南	インフルエンザ(18.0)、 感染性胃腸炎(31.7)
小林	インフルエンザ(37.0)、 感染性胃腸炎(21.7)
高鍋	インフルエンザ(16.2)
高千穂	インフルエンザ(10.5)
日向	インフルエンザ(23.8)、伝染性紅斑(2.0)
中央	インフルエンザ(33.5)

#### \* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・インフルエンザ(30)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

#### \* 流行注意報レベル基準値 \*

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

### □病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和2年2月3日までに検出)

#### ★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	5～9歳	男	2020.01.17	発熱(39.8℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.01.24

#### ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA10型	0～4歳	男	2019.11.12	手足口病、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2020.01.26
コクサッキーウイルスA10型	0～4歳	女	2019.11.26	ヘルペス、38.1℃、口内炎	咽頭ぬぐい液	2020.01.26
エコーウイルス30型	5～9歳	男	2019.12.25	急性咽頭炎、38.3℃、上気道炎	鼻腔ぬぐい液	2020.01.26

## ✚ 全国 2020 年第 4 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 4 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	294 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	37 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	7 例	エキノкокクス症	1 例
	つつが虫病	10 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	24 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	19 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例
	後天性免疫不全症候群	6 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	41 例	水痘（入院例）	8 例	梅毒	72 例
	播種性クリプトкокクス症	3 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	145 例	風しん	6 例	麻しん	1 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 112%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。

インフルエンザの報告数は 89,436 人(18.0)で前週比 108%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値\* (39.5) の約 0.5 倍である。高知県(33.8)、宮崎県(30.6)、長崎県(28.6)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は 22,639 人(7.1)で前週比 119%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\* (6.8) の約 1.1 倍である。宮崎県(16.6)、福井県(11.6)、香川県(11.4)からの報告が多く、年齢群別では 1～3 歳が全体の約 4 割を占めている

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第05週(01月27日～02月02日)

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1803	1160	236	151	170	90	185	97	21	143	67
	定点当り	30.56	19.66	14.75	15.10	24.29	18.00	37.00	16.17	10.50	23.83	33.50
RSウイルス 感染症	報告数	6	4	2		1	1					
	定点当り	0.17	0.11	0.20	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	29	15	5			3	3		1	2
	定点当り	0.42	0.81	1.50	0.83	0.00	0.00	1.00	0.75	0.00	0.25	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	157	140	55	22	15	20	9	5		10	4
	定点当り	4.36	3.89	5.50	3.67	3.75	6.67	3.00	1.25	0.00	2.50	4.00
感染性胃腸炎	報告数	597	592	182	86	17	95	65	68	10	55	14
	定点当り	16.58	16.44	18.20	14.33	4.25	31.67	21.67	17.00	10.00	13.75	14.00
水痘	報告数	32	18	2	8	2		2	2		2	
	定点当り	0.89	0.50	0.20	1.33	0.50	0.00	0.67	0.50	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	1	10	2		6		1			1	
	定点当り	0.03	0.28	0.20	0.00	1.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	40	34	20	3	1		2			8	
	定点当り	1.11	0.94	2.00	0.50	0.25	0.00	0.67	0.00	0.00	2.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	24	6	7	3		3	3		2	
	定点当り	0.81	0.67	0.60	1.17	0.75	0.00	1.00	0.75	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3	1		1						1
	定点当り	0.08	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	5	4		1						
	定点当り	0.33	0.83	1.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～5週)

2類感染症	結核	15例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例	レジオネラ症
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	1例	百日咳
					3例(1)
					2例(1)

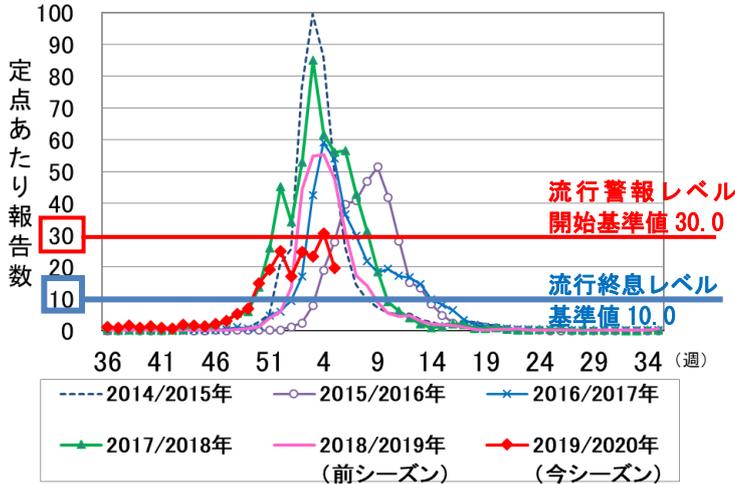
( )内は今週届出分、再掲

## インフルエンザ情報《県内第5週、全国第4週（再掲）》

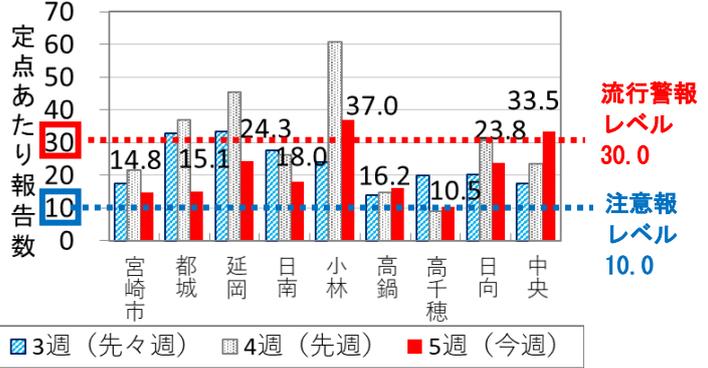
### □ 県内第5週インフルエンザ発生動向

2020年1月27日～2月2日までの1週間で1,160人（19.7）の報告があった。前週の約0.6倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*（47.1）の約0.4倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が31%、10-14歳が23%、15-19歳が5%、20-59歳が15%、60歳以上が6%を占めている（図3）。 \* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

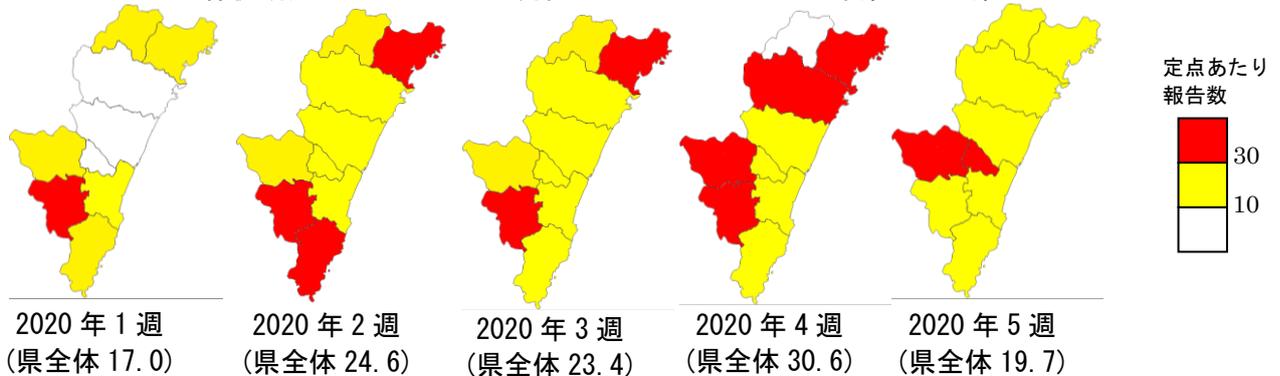


（図3）年齢群別割合の推移（2020年第1週～第5週）

週	1001人	1454人	1,380人	1,803人	1,160人	
1週	21%	22%	11%	4%	34%	8%
2週	21%	23%	14%	4%	29%	9%
3週	20%	28%	19%	4%	22%	7%
4週	21%	32%	20%	6%	16%	5%
5週	20%	31%	23%	5%	15%	6%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2020年第1週～第5週



### □ 全国第4週インフルエンザ発生動向

2020年1月20日～1月26日までの1週間で89,436人（18.0）の報告があり、前週の約1.1倍と増加した。高知県（33.8）、宮崎県（30.6）、長崎県（28.6）からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の18%、5-9歳が33%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が20%、60歳以上が6%である。